

愛媛県 武道館 だより

第7号

平成18年10月
愛媛県武道館発行
〒790-0948
松山市市坪西町551
(☎089-965-3111)

■ 武道体験フェスタ開催

愛媛県スポーツ振興事業団と県内9の武道団体（柔道協会、相撲連盟、剣道連盟、弓道連盟、銃剣道連盟、なぎなた連盟、空手道連盟、少林寺拳法連盟、合気道連盟）の主催により、7月29日（土曜日）「武道体験フェスタ」を開催しました。

この「武道体験フェスタ」は、多くの方に武道にふれる機会を作り、武道に対する理解と関心を深めるとともに、武道競技の底辺の拡大を目的として、開館以来毎年武道館で開催しており、今年で3回目となります。

フェスタ当日は、500名を超えるたくさんの方にご参加をいただき、小さな子供さんから、お母さんまでいろいろな武道を体験していただきました。

体験の合間には、武道に関する〇×式のクイズが出題され、勝ち残った方に記念品が贈られました。また、武道館の施設や設備を紹介する「武道館見学ツアー」も行われ、普段見ることのできない武道館の裏側を探索していただきました。

ご参加いただいた方には、次々といろいろな武道に挑戦される方、汗を拭きながら先生方から熱心にご指導を受ける方、思い思いに武道を楽しみました。

「1年に何度も開催してほしい」「初めて武道を体験したが、とても楽しい。これからも続けていきたい。」といったご参加の方からの声をいただきました。

スポーツ振興事業団では今後も武道館を活用したいろいろな事業を実施して参ります。みなさんも是非ご参加ください。



「媛の国」 柔道フェスティバル2005 (後編)

愛媛県柔道協会 副会長
岡田 博

〈前号からの続き〉

「媛の国」柔道フェスティバル2005各試合は、親善大会とは思えないほど白熱し、気迫のみなぎった好試合の連続で観衆を魅了し続けました。優勝は、世界選手権出場者等強力布陣の全日本チームが全試合、全得点と、その強さを見せつけた戦いでした。

予選Aリーグでは、それぞれチャイニーズ・タイペイを破った愛媛県選抜とドイツとの一戦は1点を争う、手に汗握る熱戦が展開され、勝利を決めた風戸選手逆転の「横車」には拍手が鳴りやみませんでした。

予選Bリーグではベルギー、オーストラリアが、全日本に果敢に挑む試合に盛んに声援が送られました。今後、両チームにとってこの貴重な体験を生かし、国際大会で活躍されることを祈念しております。

優勝戦は、全日本とドイツとの接戦を制した愛媛選抜の日本チーム同士での戦いとなりました。全日本のレベルを肌で感じた愛媛の選手は、自らの可能性に向かって、これからも挑戦を続けて欲しいと思います。

今回は、高校の異種目部活員が多く観戦しました。彼らにとって、世界の技と気力の素晴らしさを目の当たりにしたことは、今後それぞれの部活動に良い影響をもたらすことと信じております。

閉会式には、愛媛の特産真珠製品や俳画色紙等が副賞として、柔道着のチビッコ選手からプレゼントされ、和やかに幕を閉じました。

翌14日は、午後4時から「ふれあい柔道教室」を実施して、大会参加6チームの選手と県内の小学生・中学生約500名が練習をして汗を流しました。各国の監督選手からは、積極的に練習に取り組む少年少女の柔道について、笑顔で技を教え、励ましながら練習して交流に努めて頂きました。

また、宮本選手から「内股」、宇高選手から「大外刈」の説明をしていただき、世界に通じる技のポイントを熱心に学びました。

この愛媛の地から、世界を目指す二人に続く選手が育つことを祈っております。

このような交流が、本県の青少年にとって良き刺激となり、健全育成に寄与して、逞しく、国際感覚を持って大きく育てて欲しいと願うものであります。

「ふれあい柔道教室」終了後のフェアウェルパーティーでは、各国選手団がそれぞれ壇上にあがり歌や踊りを披露し、大会に負けぬ盛り上がり、大会関係者、協力してくれたボランティア、補助員、県民ら250人が選手達との交流を楽しみました。

大会と柔道教室の様子はRKB系列の「あいテレビ」で年末特別番組として12月29日午後4時から40分の番組として放映されました。平日開催で観戦できなかった方々から好評とねぎらいの電話を多数いただきました。

この大会で「柔道の魅力」の1つである「国際性」を愛媛という地で伝えることが出来ました。今後、「柔道の普

及と発展」に大きく反映され、国際化時代に向けた愛媛の「人材育成」の一助に貢献できることを切に願い、協会を挙げて努力したいと心から思っております。

最後に大会開催にご尽力頂きました、全日本柔道連盟、講道館、九州柔道協会、RKB毎日放送、緻密な輸送・接待計画実施の県教育委員会、県武道館、大会運営の柔道関係者、ボランティア等ご支援ご協力を賜った多くの方々に、この場を借りて柔道協会役員一同、心から感謝とお礼を申し上げます。



銃剣道の歩み今昔

愛媛県銃剣道連盟 理事長
福田 壽之

〈銃剣道の発祥〉

銃剣道は戦前主として銃剣術の名称をもって一般国民に知られていたものであるが、銃剣道そのものの源泉は17世紀の中頃すなわち、日本槍術の最盛期にあたる寛文年間、フランスで考案されたと言われ、18世紀初期、即ち江戸時代の後期、文政の頃オランダからその知識が入って来たという説もある。

文献によると、高島秋帆が幕府の命によって武洲徳丸泉（現在の東京都板橋区）において銃剣の使用を展示したり、佐藤信淵の「海防余論」の中にアンフルト戦法（銃剣による戦法）が論ぜられたり、また函館五稜郭の戦闘で官軍が銃剣で白兵戦を展開したと云う史実が残っているようであるが、それ以前の

関ヶ原合戦の以前から銃撃と長槍を組合せた戦法が組まれていたという古事からすると、銃剣発祥の遠因は欧州諸国にあるとしても、日本においても銃の渡来に伴ってその兆候が芽生えていたものと推測される。ただ、明確な資料によると、明治初期前後から急速な泰西文明の吸収や、西南の役に於ける



武術の価値等々からその関心が深まり、明治7年フランスからジェクロー氏及びキェール氏を旧富山学校に招いて明治20年頃まで研究を重ねたであろうが、その結果洋式銃剣術は全くその用をなさなかったため、彼らフランス人帰国後から本格的に日本式銃剣術樹立の研究がなされた様である。しかしながらそれより先、明治13年5月に明治天皇が富山学校行幸のおり、銃剣術を上覧に供した記念碑が東京都千代田区三番町の農林省分室敷地内に現存している点から考えると、日本における銃剣道の発祥は一応この頃、前後にあるということができそうである。

〈銃剣道の概念〉

そもそも銃剣道の芽生えは日本古来の槍術の心技に由来し、銃の変遷と渡来に伴って展開したもので、初めは銃槍拵と称せられ、次いで銃剣術と名付けられ、更に銃剣道と改められたものであり、時代と共にその名称は変わったが、術を道に改めたのは昭和16年、大日本銃剣道振興会設立のときであり、剣技を通じて体得する道として意義づけられたものの、時局の要請に伴って終戦に至るまでその技術は戦技の域を完全に脱するまでには至りませんでした。戦後、全日銃剣道連盟が結成されるに及んで、旧来の純戦技的部分はことごとく払拭されしかも古来伝統の武道の真髄を継承しつつ、スポーツとしての効果も加え、ここに新生スポーツ銃剣道の誕生をみたものであります。この目的とするところは、銃剣道の修行によって心身を鍛錬陶冶し、心技両面にわたる修行の効果により、社会人としての道徳性を高め、処世万般に必要なとする礼儀、剛健、謙譲、克己等その他の精神要素を涵養すると共に強健な体軀を造りあげ、耐久性、決断等に資することを目指したものであります。



〈戦後における銃剣道の新生〉

終戦に伴う武道禁止令の影響を受け、銃剣道もその例外ではなく、必然的に隠世の姿となっていたのでありますが、剣道の復活に伴ってスポーツとしての銃剣道新生の気運もようやくあがり、特に九州方面はその先鞭を切って躍動の動きが強かったのであります。当時中央においては、一部有志の発起によって既に戸山剣友会を組織し、戸山剣友会を母体とするスポーツ銃剣道発足の計画が進められ、昭和31年4月従来の銃剣道技術のうち戦技的部分を完全に払拭した純スポーツの銃剣道として、これを後世に伝え国民特に青少年の人間形成に資すべく発足をみたのであります。

全日本銃剣道連盟も昭和45年4月、社団法人として文部省の認可を得、続いて昭和48年8月、銃剣道のスポーツとしての価値が認められ、国民スポーツの一種目として財団法人日本体育協会加盟の承認を得たことは、斬道発展に一大契機をもたらされたものであります。昭和55年第35回栃木国体を契機として活躍の場を得ました。加えて昭和52年発足の日本武道協議会の発起一団体として参画する等、戦後における銃剣道も漸くその目的が一般国民の理解を得るに至ったことは欣快の極みであります。近い将来における銃剣道国際交流も全くの夢ではないでしょう。

〈銃剣道修行の指標〉

銃剣道の修行は、たゆまない努力によって心身を鍛錬陶冶し、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もって、正しく、明るく、強く、逞しい、人間形成を目指して精進するものであります。

愛媛県合気道連盟 平成18年度前期事業より

愛媛県合気道連盟 事務局
越智 至

①愛媛県武道館鏡開き式・稽古始め

開催日：1月8日(日)

場 所：愛媛県武道館 主道場

内 容：松山市にある道場はもとより、四国中央市、八幡浜市など愛媛県下の各道場から参集した連盟会員が、松森連盟会長指導の元、合気道の基本技、応用技を中心に稽古しました。武道館の外は厳寒、寒い北風が吹いていたにもかかわらず、多数の老若男女が観客席で見守る中、年の始めにふさわしく元気に稽古を行うことができました。

②愛媛県合気道連盟講習会

開催日：2月12日(日)

場 所：今治市営体育館 柔道場

内 容：東予及び中予地区の連盟会員が集まり、今治市合気会の橋田連盟副会長による指導が行われました。今治市合気会では多くの子ども達に対しても指導を行っており、大人と若干異なる子供に対する指導方法がたいへん参考になりました。その後、参加したそれぞれの道場の会員が集まり昼食会を開くなど、各道場間の親睦を大いに深めることができました。

③合気道大澤勇人本部師範講習会

開催日：4月23日(日)

場 所：愛媛県武道館 主道場

内 容：合気会本部より大澤勇人本部師範をお招きして講習会を行いました。地方では本部師範と接する機会が少ない為、愛媛県以外の中国・四国地区の道場からの参加者も交えて盛大な講習会となりました。また、大人だけではなく子供達も参加していたため、師範も合気道の高度な技に織り交ぜて、立った時の姿勢や足の運び、受身などに至るまで、細部にわたって丁寧に指導して下さいました。筆者も合気道を習い始めた頃を思い出し懐かしく思うと共に初心の大切さを改めて確認しました。

④第44回全日本合気道演武大会

開催日：5月27日(土)

場所：日本武道館

内容：毎年、東京都千代田区の日本武道館で行われている全日本合気道演武大会において、我が愛媛県合気道連盟は初参加を果たしました。小雨が降り続く悪天候であったにもかかわらず、日本武道館は7千人余りの観客に埋め尽くされ、演武の進行にともない徐々に白熱してくる演武参加者の勢いに圧倒されながらも、日頃の練習の成果を存分に発揮し、愛媛県を代表して精一杯演武を行いました。また、世界各国から集まった外国人による演武も行われ、世界的にも合気道愛好家が増えていることを実感するとともに、我々のすぐ近くに座っていた外国人観客が、演武に合わせて不思議そうに自分の手首をひねっているのが印象的でした。主催者によると、今までで最大規模の演武会であったとの事でした。

⑤第6回愛媛県合気道連盟演武会

開催日：6月25日(日)

場所：愛媛県武道館 柔道場

内容：年間を通して連盟最大の行事である愛媛県合気道連盟演武会は今年で6回目を迎えました。今年は県内12道場から演武者89名が日頃の稽古の成果を存分に発揮し演武を行いました。梅雨の蒸し暑さを吹き飛ばすかのごとく、力強い演武会となりました。



⑥武道体験フェスタ

開催日：7月29日(土)

場所：愛媛県武道館 主道場

内容：毎年恒例の武道体験フェスタですが、大人から子供まで幅広く参加者が集まりました。子供は受身を中心に基本動作を学び、大人は基本を踏まえた護身術などの応用技を練習しました。また、高段者の演武も披露され相手と自分の調和した、流れるような円の動きや、武道の激しさを表す当て身技が決まる度に感嘆の声が上がっていました。

愛媛県なぎなた連盟 会長就任のごあいさつ

愛媛県なぎなた連盟 会長
吉本 昭子

「愛媛県なぎなた連盟」は平成18年度役員改選に伴い4月1日付けで、新たに吉本昭子氏が会長に就任されました。吉本昭子新会長のあいさつを掲載させていただきます。

武道館が開設されて以来、数々の大会及び講習会の開催に際しましては、大変お世話になっております。この度、連盟発足後五十余年続いて参りましたなぎなた連盟の会長職を引き継ぐ事になり、重責を感じております。歴代会長の足跡に学び、微力ではございますが、努力して参りたく存じます。

これまでの歴史の中では、お蔭様で沢山の選手を送り出す事が出来ました。最近では、池見敬子選手が、昨年の第50回全日本なぎなた選手権大会において通算6度目の優勝を果たし、輝かしい皇后杯を愛媛に持ち帰る事が出来ました。今後は、現在練習に励んでいる幼い選手の中から、先輩に続く人達が頭角を現してくれることも予想され、頼もしく思っております。また今年、来る2017年に愛媛で開催されます国民体育大会の出発地点として、愛媛県全体が大きく一歩を踏み出しました。当連盟も、この目標に向かってそれぞれの種目の皆様と共に進んで参りたいと存じます。

終わりにになりましたが、今後も生涯スポーツとしてなぎなたの道を歩みながら自己研鑽を続けてまいります。関係各位の皆様方のご指導の程をお願い申し上げます。簡単でございますがご挨拶に変えさせていただきます。

愛媛県武道館での主要行事 (10月～12月) のご案内

行事名	開催日	主催・主管
バスケットボールスーパーリーグ トヨタ自動車 vs パナソニック	10月28日(土) ～29日(日)	愛媛県バスケットボール協会 (089-962-2693)
NTTグループコレクション2006	11月1日(水) ～2日(木)	NTTグループ
愛媛スポーツ・レクリエーション祭2006	11月5日(日) ・12日(日)	愛媛スポーツ・レクリエーション祭 2006実行委員会
第6回全中国四国交流空手道選手権大会	11月26日(日)	愛媛県空手道連盟
第58回全国人権・同和教育研究大会 愛媛大会	12月2日(土)	第58回全国人権・同和教育研究大会 愛媛大会実行委員会
「媛の国」柔道フェスティバル2006 ふれあい柔道教室	12月9日(土) ～10日(日)	「媛の国」柔道フェスティバル2006 実行委員会

(大会日程等は、変更される場合があります)